先生と読む
90分de名著

第８回

遠藤周作
『海と毒薬』

良心の呵責とは、…子供の頃からぼくにとっては、
他人の眼、社会の罰にたいする恐怖だけだったのである。（講談社文庫版、p142）

（講談社文庫版、p201）人間の良心なんて、考えよう一つで、どうにも変るもんやわ。

神を持たない日本人の
良心のよりどころはどこにあるのか

戦争末期の1945年に九州帝国大学医学部で起きた
米軍捕虜生体解剖事件を描いたこの作品を
九州大学に籍を置くみんなで自由に考える読書会です。

2026年 11月 18日（水）
16:40-18:10 （5限）

中央図書館
カフェ・ラウンジ（童夢の森）
【定員】15名 ※飲食 OK

【指南役】岩田 幸良 先生（農学研究院）
【案内役】正本 理成（生物資源環境科学府 修士1年）
長野 杏香（文学部 3年）

【参加方法】

小説や映画などで内容を知っている方なら、学生 / 教職員どなたでも大歓迎！
図書館ウェブサイト＞イベントまたはQRコードから
https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/book-club-meeting-202611

【問合せ先】

中央図書館 利用者サービス課
092-802-2481
touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp